

## 【解答への手引き（テーマ説明文）】

今回の話題は、訪日外国人旅行者数を増加させ、日本を観光立国として発展させるための官民を挙げた取り組みについてです。近年、訪日外国人客の増加が著しく、日本はさらなる観光市場の拡大をはかろうとしています。皆さんもご存知の通り、2019年にはラグビーW杯、2020年には東京五輪・パラリンピックが開催されます。これらのイベントを目当てに海外から外国人旅行者が集まることは想定できますが、こういったイベントが開催されない時期でもコンスタントに旅行者の呼び込みができるよう、政府と民間それぞれが対策を打ち出している様子が述べられています。

英文自体は難易度の高い単語や構文もほとんどありません。ポイントとなる数値が何回か出てきますが、文章の流れをおさえて読んでいけば理解できます。内容把握問題では細部まで注意を払い、不適切な記述が含まれていないか確認していきましょう。

## 【解答】

問1 ① ア ② ア ③ エ ④ イ

問2 (A) ウ (B) ア (C) ウ (D) エ

問3 しかし、その増加は東京五輪・パラリンピックをはじめとする、日本で開催される予定の国際的な大型イベントによるところが大きいことも確かである。

問4 イ

問5 もっと多くの人々に福島を訪れてもらうためには、東京に宿泊する外国人旅行者に福島へ来るように呼びかけるような地道な努力を続けることが大切だ。

問6 ア, オ

## 【設問解説】

問1 語句問題。下線部の語と同じ意味の日本語を選ぶ問題です。

① 正解はアです。thrive は自動詞で、「(会社・事業などが) 繁栄する、成功する」の意味を表します。「わが国が観光産業によって本当の意味で( ① ) ためには…」という文脈から、アが適切であると判断できます。第2パラグラフ第2文にある prosper もほぼ同様の意味を表します。

② 正解はアです。surpass は他動詞で、「～を上回る、超える」の意味を表します。第2パラグラフ第1文および第4パラグラフ第1文に「外国人旅行者数が3000万人を突破した」とあることから、「3000万人の大台を超えたにもかかわらず…」という内容になると推測できます。第2パラグラフ第1文にある exceed, top もほぼ同様の意味を表します。

③ 正解はエです。implement は他動詞で、「(政策・法律など) を実行する、実施する」の意味を表します。「政府は…有効な対策( ③ ) ことができるかどうか問われている」という文脈から、エが適切であると判断できます。同様の意味を表す熟語として carry out ~ も覚えておきましょう。

- ④ 正解はイです。meanwhile は副詞で、「一方では、それと同時に」などの意味を表します。『酒蔵ツーリズム』の参加者は… ( ④ ), 『アニメツーリズム』では…」という流れから判断できるでしょう。アの「しかしながら」は however, ウの「ある意味で」は in a way, エの「それゆえに」は therefore などで表現することができます。

問2 空所補充問題。文脈に合わせて、空所に適した語を選択する問題です。

- (A) 正解はウです。means は単複両扱いの名詞で、「手段、方法」の意味を表します。「外国人旅行者を呼び込む方法として」という内容になります。この means は、第3パラグラフ第2文や第10パラグラフ第1文でも用いられています。meaning「意味」と混同しないようにしましょう。
- (B) 正解はアです。boost は他動詞で、「～を増大させる、発展させる」の意味を表します。「外国人旅行者数 ( B ) 取り組みの一環として、政府は航空路線や航路の増強を進めている」という文脈から判断できるでしょう。ウの grasp は「～をつかむ、理解する」、エの transmit は「～を送信する」の意味で、いずれも文脈に合いません。
- (C) 正解はウです。in addition to ~ は「～に加えて」の意味の頻出表現です。「東京や京都、富士山などの定番の観光地だけでなく、地方の観光名所にもより多くの外国人旅行者を呼び込むため…」という内容になります。ちなみに、in addition は「さらに、その上」の意味です。
- (D) 正解はエです。in charge of ~ は「～を担当して、～の責任を負って」の意味を表します。employee の後に who is が省略されており、「プロジェクトを担当する同社の従業員は…」という文脈になると判断できます。

問3 下線部和訳問題です。

1つめのポイントは、the fact remains that ... の構文です。「…という事実はやはり変わらない」「それでもやはり…」などと訳すことができます。

2つめのポイントは、owe A to B「AについてはBのおかげである」の表現です。Aにあたるのが a great deal, Bにあたるのが the Tokyo Olympic ... 以下なので、「大部分は東京五輪…のおかげである」となります。

文末にある to be held here は「ここ (=日本) で開催される予定の」の意味で、直前の events を修飾する形容詞的用法の to 不定詞句です。

以上より、「しかし、その増加は東京五輪・パラリンピックをはじめとする、日本で開催される予定の国際的な大型イベントによるところが大きいことも確かである」といった和訳が完成します。

問4 文内容把握問題です。

正解はイです。下線部(2)の文は、「2020年に数値を4000万人まで引き上げる目標は射程圏に入った」という意味です。The target of ... in 2020 が主語、has come が動詞です。come within range は「射程圏内に入る」という意味です。また、下線部(2)の直前に expressed his confidence in achieving these goals 「目標実現への自信を示した」とあることから、「2020年までに外国人旅行者数を4000万人に増やすという目標は達成可能だろう」という意味であることが推測できます。したがって、この内容に一致するイが正解となります。

問5 下線部和訳問題です。

1つめのポイントは、make sure (that) ... 「確実に…する」の表現です。To make sure ... の部分は目的を表す副詞的用法の to 不定詞句なので、「もっと多くの人々に福島を訪れてもらうためには」などとするとよいでしょう。

2つめのポイントは形式主語 it の構文です。真主語の to continue 以下では、such A as B 「BのようなA」、call on O to do 「Oに～してくれるよう求める」の表現が用いられています。staying in Tokyo は、直前にある foreign tourists を修飾する後置修飾の分詞句です。

以上より、「もっと多くの人々に福島を訪れてもらうためには、東京に宿泊する外国人旅行者に福島へ来るように呼びかけるような地道な努力を続けることが大切だ」といった和訳が完成します。

問6 内容把握問題。各選択肢の内容を正しく捉え、本文中のどこに言及があるのかを確かめながら適切な答えを選ぶ問題です。

(ア) 正解：本文第4パラグラフ参照。「外国人旅行者数が3000万人を突破した12月18日に関西空港で開かれた記念式典で…挨拶の後、石井国土交通相は台湾からの観光客に記念品を贈呈した」と述べられていることと一致します。

(イ) 誤り：本文第6パラグラフ参照。「これらのイベント（＝日本で開催される予定の国際的な大型イベント）には、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京五輪・パラリンピック…などがある。いずれも外国人旅行者数のさらなる増加が期待されるイベントである」という内容と一致しません。

(ウ) 誤り：本文第7パラグラフ参照。「フランスは2017年に8691万人の外国人旅行者を呼び込み、世界首位となっている。同年の日本の記録はフランスの3分の1程度であった」とあることから、「約5倍」ではなく「約3倍」が正しいとわかります。

(エ) 誤り：本文第8・9パラグラフ参照。「国土交通省は、羽田空港の昼の時間帯の国際線発着回数を…2020年には約9万9000回まで引き上げる考えだ」という内容からわかるように、発着回数を約9万9000回まで引き上げる方針はクルーズ船ではなく「航空路線」に関するものです。

(オ) 正解：本文第 10・11 パラグラフ参照。「政府は…外国人旅行者を受け入れる態勢を強化しようと努めている。2019 年 1 月 7 日からは、出国時に 1 人 1000 円を国際観光旅客税として徴収する。政府はこれらの税収を財源として活用し、有効な対策を打てるかどうか問われている」という内容と一致します。